

(様式第4号)

上田市文化財保護審議会 会議概要

1 審議会名	上田市文化財保護審議会
2 日時	平成29年12月14日 午後1時から午後2時まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ5階教育委員会第1会議室
4 出席者	川上会長、宮本委員、小倉委員、太田委員、町田委員、水沢委員
5 市側出席者	小林教育長、中村教育次長、小林生涯学習・文化財課長、塩崎文化財保護担当係長 和根崎文化財保護担当係長、中沢担当幹、滝沢主査、谷口主任(いずれも生涯学習・ 文化財課)、小林政策企画課係長、緑川交流文化スポーツ課係長、水野商工課係長、 青木観光課長、工藤農政課長、柏木土地改良課長、春原土地改良課係長、三浦都市 計画課長、皆瀬都市計画課係長、西嶋丸子教育事務所係長、清水真田教育事務所長、 小山武石教育事務所長、倉沢上田市立博物館長、文化財保存計画協会川口氏(オブザー バー)
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年12月15日

協議事項等

1 開 会 (小林生涯学習・文化財課長)
2 あいさつ (小林教育長)
3 会長選出 川上委員が会長就任。
4 あいさつ (川上会長)
5 会長職務代理者の氏名 宮本委員を指名。
6 協議事項 (1) 上田市歴史文化基本構想の策定について ・資料に沿い、歴史文化基本構想及び上田市歴史文化基本構想策定委員会の組織と規約を説明。 ・以降、協議 (委 員) 歴史文化基本構想はこれまで地域で行われてきた調査等をまとめるというイメージなの か。 (事務局) 各地域での取り組みを上田市全体のストーリーの一部に位置付けることで、価値・意識が 高まる。 (委 員) 上田市全体ではなく、各地域で絞っていくことも考えられるのではないか。 (事務局) 地域で絞るという考え方もあるが、一つの対象物を中心に考えた場合、その構成要素が複 数地域にまたがっている場合もある。どちらの考え方も検討していきたい。 (委 員) 最終的には、地元住民が立ち上がり、全面的に協力するようにしていきたい。 (委 員) 構成要素の中には、有形文化財の中の美術工芸品や文書等も入るのか。そうなると博物館 もコアとなりうる。 (事務局) 美術工芸品や文書等も含まれる。 (委 員) 「指定」と「登録」の違いは。 (事務局) 「指定」「登録」の違いについて説明。 ○協議結果：上田市歴史文化基本構想策定委員会を設置し策定を進めることを承認。
7 その他 ・資料に沿い、中沢担当幹から下記二点について説明。 ・県宝指定：「銅造阿弥陀如来及び両脇侍像」願行寺。 ・文化財登録：「筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所大明神寮」
8 閉会